

はじめに

本学の教育目標は「建学の精神」に明確に記載されている。すなわち「良医を育てる」、「知識と技術をきわめる」、「社会に貢献する」の三つであり、これに基づき、「良き医療者」を育成することが本学に求められている。学生諸君は6年間の在学中に、1) 自学自習の習慣、2) 問題解決能力、3) 知識・技術の習得、4) 医師として好ましい態度・価値観、を習得し、「良き医療者」となる基礎を作ってほしい。

本学は「モデル・コア・カリキュラム」に対応したカリキュラムの編成を行ってきた。平成28年改訂のモデル・コア・カリキュラムは「多様なニーズに対応できる医師の養成」を掲げている。状況に応じて、医療安全、チーム医療、地域医療などのニーズに対応できる実践的臨床能力が卒業時に要求されている。また全国の医科大学・医学部においては、国際基準に沿った医学教育分野別評価に対応した講義、臨床実習を目指したカリキュラムが求められている。本学ではカリキュラムの改編を実施し、初年次教育から医学を学ぶための基礎知識を涵養するプログラムを取り入れ、さらに診療参加型臨床実習を第4学年から実施するなどの方策を行っている。

「診療参加型臨床実習」(CCS)ではより正確な知識と技術が必要である。まずは第1～3学年次のユニットでの学習成果を、第3学年次の「共用試験」(CBT、Pre-CC OSCE)で発揮できるように知識及び技術を定着させてほしい。第4学年から開始される「診療参加型臨床実習」(CCS)ではStudent Doctorとしてより実践的な知識と技術を学び、「知識と技術をきわめる」ことを期待している。

令和2年度より、第6学年次に臨床実習終了後の知識と技術・態度を評価する「臨床実習後OSCE」(Post-CC OSCE)が、共用試験実施評価機構主催による実質的な国家試験となった。知識の「医師国家試験」、実技の「Post-CC OSCE」ともに合格できるよう成長してほしい。

カリキュラム改正により、令和3年度から第1、3学年で新カリキュラムが実施されている。令和5年度は、第5学年で内科診療科を中心とした新しい診療参加型臨床実習が開始となる。現在カリキュラム改正は過渡期であり、学生諸君にも苦労を強いている部分があるが、このような状況をプラスに考え、自分の力を伸ばすよう学生一人ひとりが自発的、意欲的に学んでいく姿勢を大切にしてほしい。

この学習要項には令和5年度の一般目標、行動目標、学習内容が明示してある。カリキュラムはあくまで学習目標の達成のための行動計画書であり、学生自らの学習意欲と教員の情熱があってはじめて目標が達成される。このカリキュラムが有効に機能し、学生諸君が6年間の課程を終了後、立派な「良医」として羽ばたき、「社会に貢献する」することを期待してやまない。

令和5年4月
医 学 部 長